

日本スポーツ心理学会第 49 回大会 2 号通信

第 49 回大会委員長 山崎史恵（新潟医療福祉大学）

梅雨の候、会員の皆様には相変わらずご多忙な日々をお過ごしのことと推察申し上げます。

今年度の大会は、9月30日（金）～10月2日（日）に、朱鷺メッセ（新潟市）にて開催されます。ここ数か月、各地の感染状況を固唾を呑んで見守っておりましたが、現在、全国的にも新規感染者数は減少傾向に転じている状況であることから、予定通り現地開催とする決定をいたしました。ありがたいことに、会員企画行事（自主シンポジウム・RTD）へのお申し込みも多数いただいております、久々の現地開催に対する会員皆様の期待も感じております。引き続き、感染症対策を怠ることなく、多くの会員の皆様と活発に議論を交わしながら、新たな研究と実践の発展につなげることができれば幸いです。

今回お届けした2号通信のご案内にありますとおり、今後は、参加申し込みや発表申し込みなどが行われることとなります。例年より開催時期が早いため、参加申し込み等の期日も迫っておりますので、ご注意ください。なお、プログラムの詳細は今後大会HPのご案内してまいります。情報交換会の開催を見送るなど、感染症予防の観点から、一部は開催を控えたプログラムもありますが、新たな試みとして託児室を設けるなど、安心してご参加いただける環境づくりに努めております。

学会が開催される清秋の新潟は、日本海と佐渡島を望み、豊かな味覚を堪能できる良い季節です。有意義な大会となりますように、実行委員会一同で尽力いたしますので、皆様の積極的なご参加を、心よりお待ちしております。

■ 大会期日と大会行事

- 9月30日（金） スポーツメンタルトレーニング（SMT）指導士講習会、自主シンポジウム
- 10月1日（土） 一般発表（口頭）、大会企画シンポジウム、学会企画シンポジウム、総会
- 10月2日（日） 一般発表（ポスター）、ラウンドテーブルディスカッション（RTD）

■ SMT 資格委員会からのお知らせ

2022年度スポーツメンタルトレーニング（SMT）指導士講習会の申し込みおよび参加費支払い先は、学会大会への参加申し込みおよび支払い先とは異なりますので、ご注意ください。

詳しくは資格委員会のホームページ（HP）：<https://smt.jssp.jp/>をご確認ください。

※講習会の参加にあたり、学会大会が設置する託児室の利用が可能です。

■ 会 場

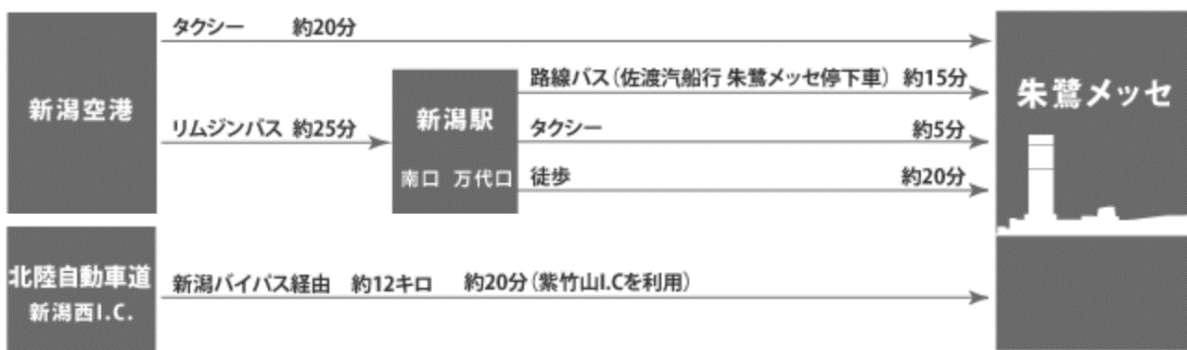
朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

〒950-0078 新潟市中央区万代島 6 番 1 号

TEL.025-246-8400 FAX.025-246-8411

・朱鷺メッセ（来場者用）HP： <https://www.tokimesse.com/visitor/>

・朱鷺メッセまでのアクセス：



■ 大会公式 HP

<https://taikai49.jssp.jp/>

■ 大会事務局

日本スポーツ心理学会第 49 回大会事務局

〒950-3198 新潟市北区島見町 1398 新潟医療福祉大学 山崎史恵研究室内

TEL： 025-257-4687

E-mail： conf@jssp.jp

■ 大会スケジュール

（発表件数等によりスケジュールは変更する場合があります）

	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	18:00	19:00	20:00			
9/30									(SMT指導士関連)													自主シンポジウム	
10/1			口頭発表A・B・C・D							(名誉会員 昼食会)	大会企画 シンポジウム					学会企画 シンポジウム				総会 学会賞			
10/2		ポスター発表 1・2								ラウンドテーブル ディスカッション													

※新型コロナ感染症予防の観点から、今大会の「情報交換会」は行いません。

※大会期間中 9/30～10/2 の 3 日間は、会場内に託児室（業者委託）が設置されます。

詳しくは大会 HP をご覧ください。

■ 学会大会の「参加申し込み」

- ・大会公式 HP (<https://taikai49.jssp.jp/>) の「参加申し込み」から参加登録をお願いいたします。
- ・事前「参加申し込み」の期限は、7月19日（火）15時です。会員の方は、この日までに年会費を納入してください。年会費の納入状況は、スポーツ心理学会 HP の「会員 MyPage」で確認できます。ただし、年会費の納入先は、大会参加費の支払い先とは異なりますので、ご注意ください。
- ・2022年3月31日付で、学会年会費が3年連続して未納の方は、正会員の資格が失効しています。「発表申し込み」をする場合、あるいは入会希望者の推薦人になる場合には、事前に資格の有無を確認してください。
- ・本大会では、会場内に託児室（業務委託、0歳3か月～小学校6年生対象）を設置いたします。利用をご希望の方は、大会 HP からのリンクにて詳細情報を掲示しますので、確認のうえで別途、お申し込みください。（シッター配置の都合上、8/1（月）までに利用申込を済ませてください。）

■ 一般発表（ポスター・口頭）の「発表申し込み」

- ・「発表申し込み」の方法は、Web 登録のみとなります。
- ・発表希望者（筆頭および共同発表者）は、上記「参加申し込み」のページ下部にある「発表に関する申込」から希望する発表方法にチェックを入れ、7月19日（火）15時までに送信してください。
- ・発表申し込みの際には、希望発表区分を選択してください。※発表時間は予定
 1. ポスター発表（90分）
 2. 口頭発表（15分発表・10分質疑）※大会運営の都合上、口頭発表の受け入れ数に制限がありますので、お含みください。なお2. 口頭発表でお申し込みされた方の受付結果につきましては、申し込み締切後のできるだけ早い時期にEメールでご連絡いたします(8月上旬予定)。
- ・筆頭発表者には、参加申し込み確認メールが返信されます。抄録テンプレートを指定 URL からダウンロードの上、指定した様式で発表抄録原稿を作成し、7月19日（火）15時までに PDF ファイルを抄録アップロードサイトに提出してください。
- ・発表抄録は、PDF 形式のファイルに限ります。
- ・筆頭発表者は学会員に限ります。共同発表者に非会員が含まれていても問題ありません。

- ・学部生は筆頭または共同発表者になることはできません。
- ・発表できる内容は、未発表の研究で、完結しているものとします。
- ・申し込みのあった抄録は、以下の点について妥当であるか審査いたします。
 1. 日本スポーツ心理学会の研究発表としてふさわしい内容か
 2. 研究手続きとして「日本スポーツ心理学会倫理綱領」に沿ったものであるか
 3. 研究発表として体裁は整っているか（方法や結果が明示されているか）

※内容に問題があった場合は、筆頭発表者に E メールで連絡いたします（8月上旬予定）。

- ・提出した抄録の差し替えや修正等が必要な場合、あるいは2回以上の申し込みを行った場合は、大会事務局までご連絡ください。なお、発表申し込み締切後の自己都合による抄録の差し替え・修正は、原則として認めません。
- ・抄録の内容と実際の発表内容が著しく異なっていることが明らかになった場合は、発表取り消しとすることがあります。
- ・必ず共同発表者も含め、発表者全員の「発表申し込み」をお済ませください。「参加申し込み」と「発表申し込み」（～7/19）、および大会参加費の支払い（～8/1）により、発表手続き完了となります。
- ・口頭発表において、パソコンの OS は Windows10 で、PowerPoint2019 を用意いたします（予定）。プロジェクターの端子は HDMI です。Mac をご利用の場合はご自分でご用意ください。詳細は、後日、ホームページに掲載しますので、ご確認ください。
- ・筆頭発表者が、新型コロナウイルス感染症のため当日やむを得ず来場できなくなった場合は、共同発表者が会場にて代理で発表をしてください。もし共同発表者による代理発表が困難である場合は、「発表取り消し」の手続きを行いますので、大会事務局まで速やかにお知らせください。

■ 大会発表賞

- ・本大会では、優れた一般発表に対し、発表賞（最優秀発表賞、優秀発表賞）を授与します。
- ・すべての一般発表（ポスター・口頭）を受賞対象とします。選考は、発表賞選考委員会が行います。
- ・受賞者には、電子版賞状を E メールでお送りします。

■ 大会参加費等の支払い

- ・大会参加費の支払いは、同封の「払込取扱票」を用いて郵便局で行ってください。「参加申し込み」後、この支払いをもって手続きが完了となります。どちらか一方のみでは完了となりません。
- ・事前「参加申し込み」による事前参加費の支払期限は、8月1日（月）です。
- ・発表希望者の学会年会費（筆頭および会員の共同発表者）が7月19日（火）までに完納されていない場合や、大会参加費が8月1日（月）までに支払われていない場合、大会プログラムおよび抄録集に掲載できませんので、注意してください。なお、原則、大会参加費は支払い後の返金はいたしません。
- ・共同発表者がいる場合は、共同発表者の来場の如何に関わらず、「参加申し込み」（7月19日15時まで）と大会参加費の支払い（8月1日まで）を必ず行ってください。
- ・大会参加費の支払いに際しては、1名について「払込取扱票」1枚を使用してください。1枚の取扱票で複数名の支払いはしないでください。
- ・同封の「払込取扱票」のチェック欄をご参照ください。ご希望項目にチェックをした上で、合計金額をお支払いください。

【重要】 通信欄の以下の情報について、正しく○印、数字等をご記入ください。

- ① 会員種別：会員（一般）、会員（大学院生）、非会員
- ② 研究発表抄録集の購入の有無と冊数
- ③ 合計金額

※ 会員（大学院生）の参加費に関しては、学会本部から¥2,000の補助が出ています。
下の金額 ¥1,000（8/2以降は¥2,000）を参加費としてお支払いください。

		大会参加費	
		事前申し込み	8月2日以降
会員	一般	¥6,000	¥8,000
	大学院生	¥1,000	¥2,000
非会員		¥8,000	¥9,000

研究発表抄録集	¥2,000	() 冊
---------	--------	-------

合計金額	¥
------	---

・大会参加費等の「払込取扱票」をお持ちでない方（紛失を含む）は、下記の通りお支払いください。

【郵便局の「払込取扱票」等をご利用の場合】

口座種類： ゆうちょ銀行 振替口座

口座記号番号： 00890-2-154606 番

口座名称： 日本スポーツ心理学会・学会大会実行委員会

【他銀行等をご利用の場合】

銀行名・店名： ゆうちょ銀行 ○八九（ゼロハチキュウ）店

預金種目・口座番号： 当座 0154606

口座名称： 日本スポーツ心理学会・学会大会実行委員会

【重要】 振込人は「氏名 会員番号」としてください。

*注意事項：会員の大会参加・発表には、「学会年会費」の納入が必要です。学会年会費の納入先は、大会参加費の支払い先とは異なりますので、ご注意ください。

■ 重要な日程

日 時	内 容
6 月 24 日 (金) 正午	<u>事前</u> 「参加申し込み」・「発表申し込み」の受付開始
7 月 19 日 (火) 15時	<u>事前</u> 「参加申し込み」・「発表申し込み」の締め切り (筆頭・共同) <u>事前</u> 「参加申し込み」した会員の <u>年会費</u> の納入期限
8 月 1 日 (月)	<u>事前参加費</u> の支払い期限 <u>託児室利用</u> の申し込み期限 (大会HPリンクより)
8 月上旬	発表確定のお知らせ
9 月初旬	大会プログラム (冊子)・抄録集の発送、プログラムのWeb 公開
9 月 30 日 (金)	SMT指導士研修会・講習会 自主シンポジウム
10 月 1 日 (土)	午前：口頭発表 午後：大会企画シンポジウム、学会企画シンポジウム、総会
10 月 2 日 (日)	午前：ポスター発表 午後：RTD

■ 学会企画シンポジウム

日時：10月1日（土） 15時30分～17時30分

テーマ：隠匿情報検査から学ぶ「うそ・だましの科学」

－スポーツ場面への応用と課題－

話題提供者：松田 いづみ（青山学院大学）

吉田 和人（順天堂大学）

奥村 基生（東京学芸大学）

司 会：福原 和伸（東京都立大学）

概要：

競技スポーツにおいて、対戦相手をだますことは、ゲーム・試合を有利に進めるために非常に重要なスキルとなっている。そのため、多くの対戦型のスポーツでは、「フェイント」の技術が試合結果を左右する重要なスキルとなっており、また、同時に相手のフェイントを見破り「だまされない」スキルも重要となってくる。

一方、スポーツ以外の分野では、犯罪におけるウソを見破るための「隠匿情報検査」に関する研究があり、日本はこの研究分野では長い歴史を持ち世界をリードしている。さらに、隠匿情報検査もスポーツ心理学と同じく、理論構築という「研究」と、犯罪捜査という「現場」の両方を持ち、現場と研究の密接な協力が強く求められる研究領域でもある。

本シンポジウムでは、日本が誇る隠匿情報検査の研究を参考に、「うそ・だまし」のメカニズム、そして「うそ・だまし」を見破るメカニズムとはどのようなものかを議論し、スポーツにおける応用可能性およびその課題について検討する。

「隠匿情報検査」については、日本における隠匿情報検査に関するトップリサーチャーであり、多くの論文を国際誌に発表している松田いづみ氏に紹介して頂く。「隠匿情報検査」とはどのようなものなのか、人がウソをついているときには、どのような身体の反応が生じるのかなど、実際に現場で用いられている検査法などを紹介頂きながら、「うそ・だまし」をどのように見破っているのかを話して頂く。

「スポーツ場面への応用と課題」については、吉田和人氏に卓球を題材に実際の競技場面における「うそ・だまし」について紹介して頂く。また、奥村基生氏には運動学習研究の観点より、「うそ・だまし」の応用と課題について議論して頂く。

そして、3人の話題提供者の内容を、福原和伸氏が、指定討論者の役割も担いながら、知覚認知研究（視覚運動制御や予測・意思決定）の視点から議論をまとめて頂く。

日常生活においては、「うそ・だまし」は許されない行為であるが、スポーツの中ではその行為はひとつのスキルとなる。本シンポジウムが「うそ・だまし」について深く考える機会となれば幸いである。

■ その他プログラム（学会企画シンポ、自主シンポ、ラウンドテーブルディスカッション等）の詳細につきましては、順次、大会HPにてご案内いたします。